PEIT Letter No.03 (2011.4.15)

一般社団法人 Tokyo Professional Engineer Inc.

東京技術士会

会長の時流散歩 未曾有の天変地異と日本人の逞しさ

桜の開花予想が新聞紙上に現れる頃に，それは突然起きました．後日「東日本大震災」と命名された未曾有の大地震と津波により，派生的に発生した福島第1原子力発電所事故は日本中を，否，世界中を震撼させています．自衛隊員，消防官，警察官，米国軍人，外国の救援隊の方々の危険を顧みないご努力には，ただただ頭が下がる思いです．この様な非常時では，上記制服組に医師，看護士を含めた人々のユニフォーム姿の逞しさが一層輝いて見える事を，日常的に決して忘れてはいけない，と天は強く示唆していると感じるのは私だけでしょうか．

これからの事に関して，4月13日の産経新聞に投稿した仙台市在住の作家伊集院静氏は，「貞観地震(869)，慶長の大地震(1611)，明治9年，昭和8年の地震では住民の8−9割が死んでも街を再生させた東北人の気質が日本の根源である」と喝破しています．又，私の住まい近くのクリニックの院長さんは，「地震発生以来のTV報道の現場の光景が脳に刷り込まれて，就寝中に自分が財産も家族も亡くして被災地を放浪している幻覚を起こし，夢・妄想の中で朝まで逃げられなかった」と告白し，我々は如何にして被災地の現実を被災者の皆さんと分かち合えるのか，と自問されています．

歴史に残るこの事件は，「人間は科学・技術で何でも出来，それから発現する富さえ得れば幸せになる」と言う思い上がりに，自然が「日本人」に与えた鉄槌であると謙虚に捉えて，我々技術士はより一層人間の幸せと自然に調和した技術の活用に邁進せねばなりません．

技術士の出番 理数科大好き子どもを育てる！

現在の小中学校の理数科教育の現場(特に小学校)には，「生徒に疑問を持たせる授業」「生徒自らが考え出せる授業」，「生徒自ら手を下せる授業」，「自ずと興味が沸いてくる授業」という要因が欠けているようです．結果として「理数科目が好きになる授業」なっておらず，学力の低下等を惹起し我が国の次世代に不安を感じさせかねない状況にしています．

小学校の先生は必ずしも理数科目が専門ではなく，何にもまして超多忙であり，今こそ理数科目に明るい多くの専門家集団が連携して，理科大好きな子どもを育てる任務を担う時であります．

技術士は法律で技術者の最高位に位置付けされた資格です．

【事例】ポンポン船で学ぶ

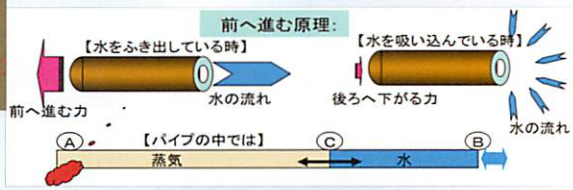
文部科学省の教育指導要領を念頭に，社会での豊富な実務経験に基づいて，『疑問を抱かせながら』『実験を通して』『自ら考え』『楽しみながら』原理原則を理解し，更には実社会で実際に使われている事例を勉強できたらと考えております．

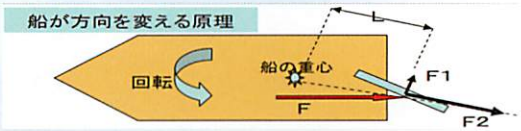
〈 SIG子ども理科クラブ　永田一良記 〉

応用編

考えながら工作する

水中での浮力





お知らせとカレンダー 第10回たま工業交流展に出展他

▸東京技術士会に興味のあるお客様と業務相談のあるお客様

東京技術士会 検索 でアクセスしてください．

HPを活用して，IT時代に相応しいバーチャル運営をやっております．事務所も電話もございませんのでご了承ください．

▸入会問合せ，入会申込みをなされる方，上記と同様にHPにアクセスしてください．

▸PEIT定例会議(毎回13:00〜17:00港区生涯学習センター)
4月27日(水)，5月25日(水)

▸PEIT定時総会(平成22年度事業・決算報告，新規役員選任)
5月25日(水)15:00〜16:00(予定)

SIGの事例紹介 官公需情報センターのご紹介

東京技術士会は，官公需法に基づく国の機関および自治体の役務調達に対し，技術士21部門の総合力を結集して対応させていただきます．

官公需情報センター【KIC】は，官公需への対応窓口として内外の情報を収集し，専門グループを編成し，提案活動を支援しています．

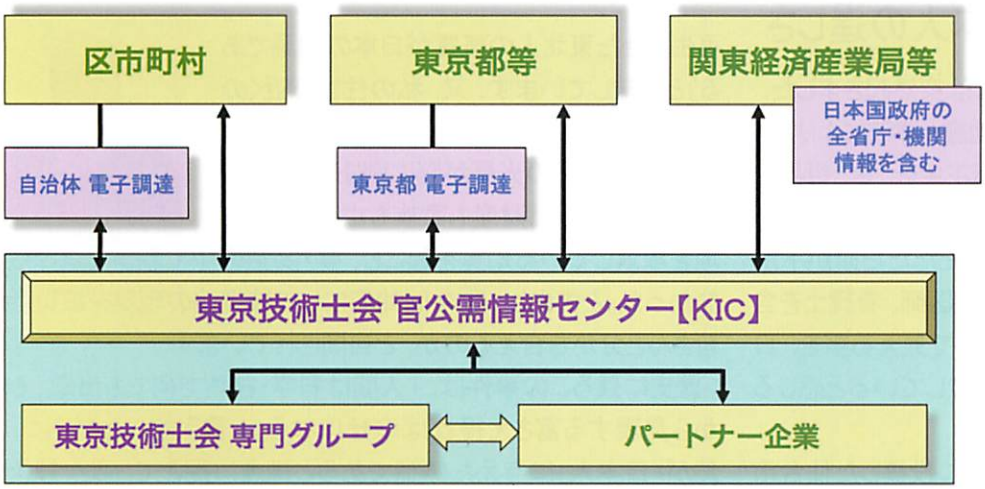
情報収集としましては，当面下記を重点に対応しています．

- 官公需情報ポータルサイト
- 東京都電子調達システム
- 東京電子自治体共同運営電子調達サービス
- 独立行政法人科学技術振興機構
- 経済産業省
- 関東経済産業局

対象業務としましては，当面下記を重点に対応しています．

- 調査・研究業務
- 情報処理業務
- 検査・鑑定業務
- 都市計画・交通関係業務
- 土木・水系関係業務
- 市場・補償鑑定関係業務
- 環境アセスメント関係業務
- その他の業務委託等

東京技術士会は，上記の公募に積極的に対応するとともに，独自の調査研究によって行政機関等への企画・提言を行っています．



SIGの事例紹介 他士業とのコラボレーション

●多摩西部診断士会とのコラボのきっかけ

任意団体の多摩西部診断士会から，中小企業基盤整備機構「中小企業会計啓発・普及セミナー事業を受注するには法人資格が必要なため，（社）東京技術士会を通じて受注していただきたいとの申し入れがあったのがきっかけでした．幸い，（社）東京技術士会と多摩西部診断士会両方の会員になっている者が中心になってこの事業を推進しました．

セミナー風景

●セミナー開催までの概要経過

平成22年12月13日に，中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部人材支援業務課で打合せを行い正式に受注が決まりました．

その後は講師手配，たましんとの交渉，集客，中小企業基盤整備機構への手続き，パンフレット作成などを行いました．

●セミナー当日

日時・場所は，平成23年3月8日（火）16:00～19:00，たましん事業支援センターで実施．セミナーのテーマは，「平成22年度中小企業会計啓発・普及セミナー」であり，講演内容は「不況に打勝つ事業計画の作成」です．

参加者は35名，参加費は無料，中小企業基盤整備機構から2名が参加されました．

●今後の他士業とのコラボに向けて

今回のセミナー講師は，多摩西部診断士会から派遣された中小企業診断士ですが，次回から当(社)東京技術士会と他士業の団体からそれぞれ1名づつ講師を出して，真のコラボレーション・セミナーを行いたいと考えています．

▸お問い合せ先

下記方法で{オフィシャル・サイト：一般社団法人 東京技術士会}にアクセスし，{お問合せ}のボタンをクリックして通信文をご記入ください．

東京技術士会 検索

おくづけ

PEIT Letter Vol. 03

発行年月 2011年4月15日

発行者 一般社団法人東京技術士会

http://www.tokyo-gijutsushikai.jp/index.htm

年4回発行 季刊 定価50円